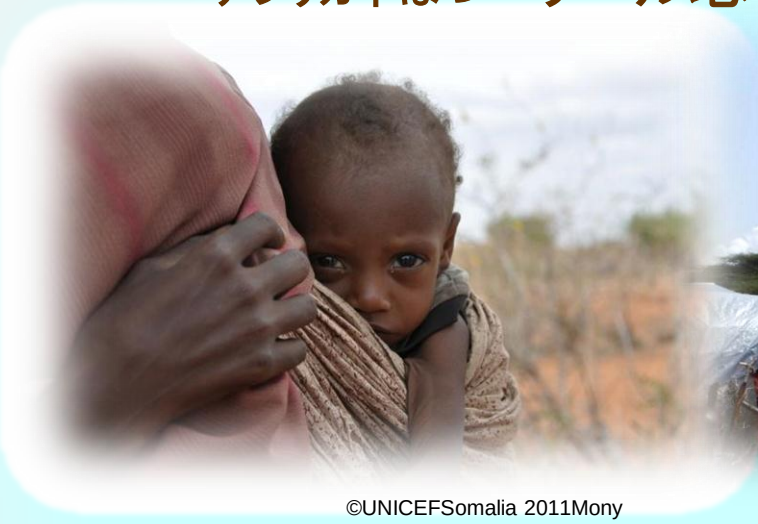
uniwish

公益財団法人日本ユニセフ協会協定地域組織
佐賀県ユニセフ協会通信　uniwish3号（2012年2月）

佐賀県佐賀市水ヶ江4丁目2番2号
（電話・FAX）0952－28－2077
（業務時間）月・火・木・金 10:00～15:00
E-mail　unicef-saga@ams.odn.ne.jp
http://www.saga-unicef.jp/

アフリカ干ばつ　サヘル地域へ拡大



©UNICEFSomalia 2011Mony

©UNICEFSomalia 2011Iman Morooka

【2012年1月20日　東京発】

干ばつや食糧価格の高騰により、660万人の子どもたちが深刻な栄養不良で命の危機に瀕しているソマリアをはじめとするアフリカの角地域。

その状況が、サヘル地域（ニジェール、ブルキナファソ、カメルーン北部、チャド、マリ、モーリタニア、ナイジェリア北部、セネガル北部）へと広がりつつあります。雨不足により作物の収穫が減少。早ければ3月には食糧の備蓄が底をつく国も出始めることが懸念されています。ユニセフの調査では、5歳未満児の栄養不良率が上がり始めており、緊急に支援を行わなければ、100万人の子どもたちが重度の栄養不良に陥る恐れがあります。

【2012年1月27日　スイス・ジュネーブ発】

ジュネーブで開かれた「子どもたちのための人道支援報告書2012年版」の発表会でユニセフのリマ・サラ事務局次長代理は、次のように述べています。「今、世界の人々の視線は、アフリカの角地域の人道危機に注がれています。しかし、我々はその他にも長期にわたる危機、すなわち「忘れられた」危機が地球上に存在することを忘れてはなりません。」「アフリカのサヘル地域は、かつてないほど大規模な栄養危機に直面しています。」

日本ユニセフ協会では、ソマリアとその周辺国を含む「アフリカの角」地域と、アフリカ中・西部に位置するサヘル地域の子どもに対してユニセフが行う緊急援助を支援する『アフリカ干ばつ緊急募金』の受付を行っています。

【資料提供：日本ユニセフ協会】

東日本大震災

被災3県でのインフルエンザ予防接種費用助成を実施中

【2012年1月25日　東京発】

昨年12月中旬、厚生労働省はインフルエンザの流行期に入ったことを発表しました。１月に入って、東日本大震災被災地域でも幼稚園や保育園が休園になるなど、本格的な流行が見られるようになっています。インフルエンザの流行はまだしばらく続くものと考えられ、発症を抑えたり重症化を防ぐ効果のあるインフルエンザワクチンの接種が、引き続き推奨されます。

日本ユニセフ協会は、昨年10月、東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島各県沿岸部の29市町村の子どもたちを対象としたインフルエンザ予防接種の支援を決定し、各地で実施されているインフルエンザ予防接種活動において、市町の保健当局等を通じ、接種1回あたり2000円の助成を行なっています。助成の対象は、生後6ヶ月から中学生までの約16万人です。

岩手県大槌町の幼稚園　仮設園舎での始業式

【2012年1月30日　岩手・大槌町発】

仮設園舎　© 日本ユニセフ協会

登園する園児と保護者たち　© 日本ユニセフ協会

1月24日朝、岩手県大槌町の「みどり幼稚園」で仮設園舎が完成し、3学期の始業式が行われました。日本ユニセフ協会は、東日本大震災被災地支援の中の未就学児に対する支援の柱の一つとして、岩手、宮城、福島各県の自治体の要請を受け、保育園や幼稚園等の仮設園舎の建設や大規模修繕の支援を展開。

「みどり幼稚園」は園舎が被災し2階まで浸水。これまで大槌高校の施設を借りて保育を行ってきました。幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる重要な時期です。幼稚園は就学前の子どもにとって大切な教育を受けられる場であり、その環境整備は急務であるとして岩手県、大槌町および園からの要請を受け、日本ユニセフ協会が仮設園舎建設を支援する運びとなりました。24日は保護者向けの内覧会も兼ねていたため、子どもたちは保護者の方と一緒に登園。工事の関係で例年より1週間ほど遅い新学期のはじまりとなりましたが、久しぶりに会うお友だちと新しい園舎に笑顔があふれていました。

子どもたちの元気な挨拶で始まった始業式。先生から「新しいピカピカの幼稚園でみんなに会えてうれしいです。みんなはどうかな～？」と問いかけられると、子どもたちからも「うれしい！」と元気な声があがりました。園長の佐々木栄光先生は「日本中・世界中の人たちの支援で新しい幼稚園ができました。大切にしながら過ごしてくれたらいいなと思います。」とご挨拶されました。子どもたちからは「友だちに会えてうれしい！」「広くてきれい！」といった声が聞かれました。仮設園舎の建てられた場所は少し内陸に入った、自然豊かな地域。降園時には、雪の残る園庭を楽しそうにかけまわる子どもたちの姿もみられました。

かつどう ほうこく

■ 9月19日（月） さが国際ふれあいフェスタ２０１１　～手をつなごう！世界と佐賀と～
東日本大震災写真パネル展　　グッズ頒布　　アバンセ（佐賀市天神どん3の森）

■ 10月8日（土）～9日（日）　ユニセフ 東日本大震災報告写真展　佐賀大学医学部むつごろう祭会場
（佐賀市佐賀大学鍋島キャンパス）

■ 10月8日（土）～15日（土）　佐賀市立図書館　（佐賀市天神どん3の森）
ユニセフ 東日本大震災報告写真展

■ 10月9日（日）　ユニセフのつどい　佐賀市立図書館（佐賀市天神どん3の森）
※講演「東日本大震災報告～ユニセフの現場から～」　講師：福原美穂氏
前ユニセフニューヨーク本部渉外官
日本ユニセフ協会東日本大震災緊急支援本部宮城フィールドマネージャー
※コンサート「風よ　どこまでも　ななこがの音色」　出演：ななこが

■ 10月19日（水）　出前授業「水とトイレと子どものいのち」
神埼市ドリームパーク神埼小学校ゆめ組　（神埼市神埼小学校）

■ 10月26日（水）　出前授業「水とトイレと子どものいのち」
神埼市ドリームパーク神埼小学校ほし組　（神埼市神埼小学校）

■ 11月6日（日）　グッズ頒布　語りべの里本庄祭り　（佐賀市本庄小学校）

■ 11月10日（木）　世界手洗いの日キャンペーン　（小城市おひさま保育園）

■ 11月12日（土）　出前授業「東日本大震災～ユニセフの支援～」　（柳川市大和公民館）
大和町公民館青少年ボランティア　なんでんお助け隊

■ 11月14日（月）　募金贈呈式　（小城市三日月小学校）

■ 11月15日（火）　募金贈呈式　（大川市川口小学校）

■ 11月16日（水）　出前授業「東日本大震災から学ぶもの」　（柳川市矢ヶ部小学校）

■ 11月22日（火）　世界手洗いの日キャンペーン　（佐賀市愛の泉幼稚園）
※10月から11月までの2か月間に、佐賀県健康増進課感染症・新型インフルエンザ対策推進の協力で、県内27市町の幼稚園保育所等・4保健福祉事務所等でユニセフの「手洗い」DVD等のツールを使って啓発活動を実施

■ 12月1日（木）　出前授業「名前があるということ・誕生日があるということ」（大川市田口小学校）

■ 12月22日（木）　募金贈呈式　（柳川市豊原小学校）

■ 1月11日（水）　出前授業「平和をかんがえよう」
神埼市ドリームパーク背振小学校　（神埼市背振小学校）

■ 1月25日（水）　出前授業「ユニセフと私たちにできること」　（三潴郡大木町大溝小学校）

■ 2月1日（水）　出前授業「平和をかんがえよう」
神埼市ドリームパーク千代田中部小学校ゆめ組　（神埼市千代田中部小学校）

■ 2月8日（水）　出前授業「平和をかんがえよう」
神埼市ドリームパーク千代田中部小学校ほし組　（神埼市千代田中部小学校）

■ 2月11日（土）　イオン「幸せの黄色いレシート」キャンペーン　（イオンモール佐賀大和）

～活動詳報～

第33回　ユニセフ　ハンド・イン・ハンド募金
テーマ　『ＳＯＳ！　栄養不良に苦しむ小さな命を守ろう！』

第33回ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金活動は、12月11日（日）、17日（土）、18日（日）、25日（日）に県内各会場で実施されました。園児から小中学生、引率の皆様、高校生、大学生、ボーイスカウト、カブスカウト、地域のボランティア団体の皆様、高齢者団体の皆様他、総勢239人にものぼるボランティアの皆様が参加してくださいました。

どの日も大変寒い日でしたが、ボランティアの皆様は 「ユニセフ募金にご協力をお願いしま～す！」「45円で栄養補助食品のプランピーナッツ1個をおくることができま～す！」「ありがとうございま～す！」と大きな声で協力を呼びかけました。ボランティアの皆様の熱い思いは、多くのお客様の心に届きたくさんのご協力をいただきました。

ご多用のなか駆けつけてくださったボランティアの皆様、募金箱に温かいお気持ちをお寄せいただいた多くの皆様、快く会場をご提供くださった企業の皆様、本当にありがとうございました。

11月と12月の2ヶ月間にわたって行いました『第33回ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金』の総額は、**2,011,311円**にも達しましたことをご報告します。ありがとうございました。

12月11日（日）

バニーズ三日月店
三日月中学校若竹ボランティアの皆さん

イオンスーパーセンター佐賀店
柳川市立矢ヶ部小学校の子どもたちと先生保護者の皆さん

ゆめタウン佐賀店
ボーイスカウト佐賀第５団カブ隊の皆さん

12月17日（土）

富士町
ぬくもりの会の皆さん

12月18日（日）

佐賀玉屋前
循誘校区の皆さん

イオン上峰ショッピングセンター
上峰小学校ボランティア委員会の皆さん

イオンモール佐賀大和店
大和中学校の皆さん

12月25日（日）

鹿島：ピオ　ララベル
ボーイスカウト鹿島第一団の皆さん

ユニセフって なあに？

～ユニセフというよび名は どこから？～

ユニセフがつくられたのは、第2次世界大戦が終わったあと、1946年のことです。そのころ世界では、戦争のために親や家をなくして、きびしいくらしをしなければならない子どもたちがたくさんいました。その子どもたちを、戦争に勝った国も負けた国も関係なく（国際）、すぐに（緊急）、助けようとしたのがユニセフです。
というわけで、ユニセフのはじめの名前は「国際連合国際児童緊急基金」、英語で

国際連合	国際	児童	緊急	基金
United Nations	International	Children's	Emergency	Fund

といいました。その頭文字をつなげてみると UNICEF（ユニセフ）になります。
その後、ユニセフは緊急のしごとだけでなく、世界中すべての子どもたちの命と健康をまもり、子どもたちがもってうまれた能力をじゅうぶんにのばしていけるように、政府や地域の人びとと協力して計画を立てて活動するようになりました。
そこで、1953年に、名前をいまの「国際連合児童基金」（United Nations Children's Fund）と変えましたが、ユニセフというよび名はとても親しまれていたので、そのまま使われているのです。

賛助会員募集中！

日本ユニセフ協会賛助会員としてご協力ください

日本ユニセフ協会賛助会員とは

日本国内での募金活動、広報およびアドボカシー（政策提言）活動を担う日本ユニセフ協会を、賛助会費によって支援していただく協力方法です。賛助会員になってニュースレターや資料を入手して理解を深め、世界の子どもの状況やユニセフと日本ユニセフ協会の活動を知り、できる範囲で行動する機会にしていただくことができます。

賛助会員の種類と期間

3種類の会員があります。

1. 一般賛助会員　1口 5,000円…個人の方が対象
2. 学生賛助会員　1口 2,000円…学生の方が対象

有効期限はどちらも入会月から1年間で、退会のお申し出をいただくまで継続。

3. 団体賛助会員　1口100,000円…企業、団体、有志のグループなどが対象

期間は、1年ごとの更新。

☆公益財団法人日本ユニセフ協会の賛助会費は、ユニセフ募金や寄付金と同様、寄付金控除の対象になります。

ご支援
ありがとうございます

ようどう館佐賀校様　佐賀清和中学校様　佐賀リハビリテーション病院様　あけぼの様
佐賀空港ターミナル様　みねまつ歯科様　ファミリーマート大和尼寺店様　内田整体院様
モンテカルロ太陽本庄店様　多布施クリニック様　川崎自工様　　恵比寿鍼灸整骨院様
ホンダパーツ西南佐賀営業所様　風羅坊様　アルタ開成店様　矢山クリニック様
カーブス佐賀本庄店様　佐賀ギター音楽院様　NEWモア様　山小屋ラーメン南佐賀店様
山小屋ラーメン川副店様　ふくしま薬局通小路店様　レストランカンフォーラ様
ヘアー＆フェイスドゥース様　サンシャレー様　アルタ高木瀬店様　いっせい麺処様
いちはら耳鼻咽喉科クリニック様　㈱北島様　東洋館様　Hair&Make EXCEL様　三瀬そば様
TSUTAYA鍋島店様　佐賀市文化会館様　栗原内科消化器科医院様　村岡屋駅南店様
佐賀スタンプ様　本庄公民館様　なんでんお助け隊様　三日月小学校様　菖蒲ご膳様
ホテルニューオータニ佐賀様　グランデはがくれ様　ホテルマリターレ創世様
さがんレストラン志乃県庁店様　EXCEL Fido様　エクセルウェンズ様　えんぴつ館様
浄土真宗本願寺派佐賀教区少年連盟様　バレエ＆ビヨンド様　ショッピングいしい様
ぬくもりの会様　豊原小学校様　最所法律事務所様　ボーイスカウト佐賀第１団様
矢ヶ部小学校様　㈱みつうか様　佐賀シール工業株式会社様　母子草様　川口小学校様
大和中学校様　日本バプテスト連盟佐賀キリスト協会様　佐賀北高等学校２年５組様
トヨタ紡織九州レッドトルネード様　ようどう館大和校様　はなみずき通り様

サニーハウス様　ライフデザイン様　いのちの電話様　大塚製薬佐賀工場様　山口商事様
佐賀大学スーパーネット様　回生薬局荒江店様　道海島小学校様　佐賀県国際交流協会様
ヘルスランチあららぎ様　日新公民館様　佐賀市役所福祉総務課様・統計課様
富安造園様　副島病院様　オムロンリレーアンドデバイス株式会社様　錦粧様 NPO慧燈様
(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構様　うめづ歯科・小児歯科医院様　西与賀公民館様
佐賀新聞社様　　佐賀大学医学部基礎研究棟様　武井電機工業株式会社様
弘堂国際学園様　三池・迎合同司法事務所様　　千代田中部小学校PTA様
さが市民活動プラザ様　佐賀県高等学校家庭クラブ連盟様

佐賀玉屋デパート様　　ゆめタウン佐賀店様　　バニーズ三日月店様　　ララベル様
イオンモール佐賀大和店様　　ホームワイド佐賀大和店様　　ベスト電器佐賀大和店様
イオンスーパーセンター佐賀店様　　イオン上峰ショッピングセンター様　　ピオ様

（2011年9月21日～2012年2月15日）

★　いろいろな形でのご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。
個人の皆さま方からもたくさんのご支援ご協力をいただいておりますが、この欄でのご紹介は学校・企業・団体様等のみにさせていただきます。

unicef の 仲間たち！

田中シゲさん

（武雄市北方町　１９２５年生まれ）

１９８８年（昭和６３年）仕事一筋だったがこの年に国際ソロプチミスト佐賀西部に入会。「しかしボランティアって何をすればいいんだろう。」―１９９４年、思い立ってユニセフ佐賀友の会に尋ねたのがユニセフとの出会いだった。

それから地域や様々な団体と協力して募金活動や広報など、世界の子どもたちや女性たちを支援するために陰ながら力を注いできた。

感動したのは武雄のゆめタウンで子どもたちがユニセフの募金活動をしていたとき、彼らが一生懸命、大人たちに募金の協力を求めていたあの瞬間。「子どもたちは本当に素直。ユニセフがこういう活動をしているんだということを学んだのでしょう。そのまま素直に吸収して〝何かしたい！〟という純粋な気持ちで呼びかけていたんです。奉仕の心は〝してやった〟ではなく〝機会を与えてもらった〟と素直に思える心。それが一番大事ですね。」

毎年、ユニセフのチャリティーバザーへの協力呼びかけ等をソロプチミスト佐賀西部などで行っている。

昨年は東日本大震災の被災地に手提げバック約５０００個などを送る活動にも積極的に参加。バックの中に一緒に入れた一筆をきっかけに福島県相馬市、宮城県石巻市などから思いもかけずお礼の手紙が届いたそうだ。「真心はお金で買うことはできないのですよ。」

「〝助け合い〟がお金の支援だけで済むはずはない。」「心を大切にしていくこと―それが人の生き様として結果に残るんですよ。」と田中さん。

最近では絵手紙を始めたそうだ。「数多くは書けませんが、感謝の気持ちを込めて大切に書きますよ。」そういって優しく笑った。（取材：タカハラ）

☆☆☆　テレビ番組のご案内　☆☆☆

ご覧ください

①「池上彰の学べるニュース2時間SP」
テレビ朝日系列　―　2月26日（日）午後3時30分
（※東日本大震災：ユニセフの支援活動が紹介されます）

②「明日をあきらめない…がれきの中の新聞社～河北新報のいちばん長い日～」
テレビ東京系列（TVQ九州）―　3月4日（日）夜7時54分～9時48分
BSジャパン　―　3月11日（日）夜9時00分～10時55分
原作：「河北新報のいちばん長い日」（河北新報社 著 文藝春秋 刊）
（※河北新報社社長の一力雅彦氏は宮城県ユニセフ協会の会長です）

※①②ともに、事前に新聞等の番組表でご確認ください。